

北陸新幹線の早期認可を求める意見書

北陸新幹線は、日本海国土軸の形成や東海道新幹線の代替補完機能を確保し、さらに温室効果ガスの排出量削減など、重要な国家プロジェクトであり、国家的見地からも最優先に整備が図られるべき路線である。

また、高速交通体系の柱として、国土の均衡ある発展に寄与するとともに、地域の経済と活性化に大きく貢献するものであり、あわら市の発展にとっても必要不可欠のものである。

現在、平成26年度末の開業を目指して、長野・金沢間の整備が進められているが、県内では福井駅部を除いて、認可されず整備が進まない状況で、本市の計画的なまちづくりにも大きな影響が懸念される所である。

については、市民の長年にわたる悲願である北陸新幹線の一日も早い認可・着工が実現されるよう、次の事項を強く要望する。

記

- 1 前内閣において、未着工区間については夏までに検討することとしたが、新内閣においても引き続き着実に実行され、国の責任においてスピードをもって検討を進め、新規着工区間を決定すること。
- 1 白山総合車両基地から敦賀間について、平成22年夏までのできる限り早い時期に認可決定し、早期着工を図ること。
- 1 財源については、公共事業費の重点配分、貸付料や鉄道・運輸機構の利益剰余金の活用など、幅広い観点から検討し、積極的な事業推進が可能となるよう建設財源の確保を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年6月23日

あわら市議会

衆議院議長	横	路	孝	弘	殿
参議院議長	江	田	五	月	殿
内閣総理大臣	菅		直	人	殿
総務大臣	原	口	一	博	殿
財務大臣	野	田	佳	彦	殿
国土交通大臣	前	原	誠	司	殿
内閣官房長官	仙	石	由	人	殿